

## 学位論文内容の要旨

学位申請者	山崎 洋子 【人間発達科学専攻 平成20年度生】	要 旨
論文題目	子どものやせ願望と痩身理想の内面化	<p>本論文は、子どものやせ願望のメカニズムを明らかにすることを目的とし、小・中学生のやせ願望に対する、母親の痩身理想の内面化、子どものメディア利用の影響を検討した。やせ願望と社会的痩身理想の関連を説明する Sociocultural Theory Model of Body Image を理論的枠組みとし、小中学生を対象にした調査を実施し、子どものやせ願望、子どもの成熟度、母親および子どもの痩身理想の内面化、子どものメディア利用の関連について検討している。</p> <p>論文は6章から構成されている。第1章は本論文の概要および論文全体の構成の提示、第2章は研究の社会的背景についてのレビュー、第3章はやせ願望に関連する身体像の主要な理論の詳述、第4章は本研究の目的と仮説モデルが示されている。第5章で4つの実証研究が報告され、第6章で全体総括と考察が記述されている。</p> <p>主要な知見は、次の4点である：1) 女子についてのみ、母親の痩身理想の内面化が、子どもの体重や体型に対する態度に関連し、その母親の態度や行動が子どもの痩身理想の内面化に影響を及ぼすこと、2) 身体成熟度は、母親の痩身理想の内面化と娘の痩身理想の内面化の関連性に有意な影響を与えていないが、子どもの痩身理想の内面化を有意に予測すること、3) 対等な母娘関係が、母親の痩身理想の内面化と娘の痩身理想の関連を強めること、4) 女子において、テレビ視聴時間と痩身理想の内面化の相関がみられること。</p> <p>本研究の結果から、Sociocultural Theory Model of Body Image が、小・中学生女子のやせ願望の説明に有効なモデルであるとの結論が得られた。一方、男子のやせ願望にはこのモデルがあてはまらなかったことから、今後、女子とは異なる枠組みで男子の身体像研究の必要性について論じられている。</p>
審査委員	(主査) 教授 大森 美香	
	教授 菅原 ますみ	
	教授 坂元 章	
	准教授 上原 泉	
	准教授 富士原 紀絵	